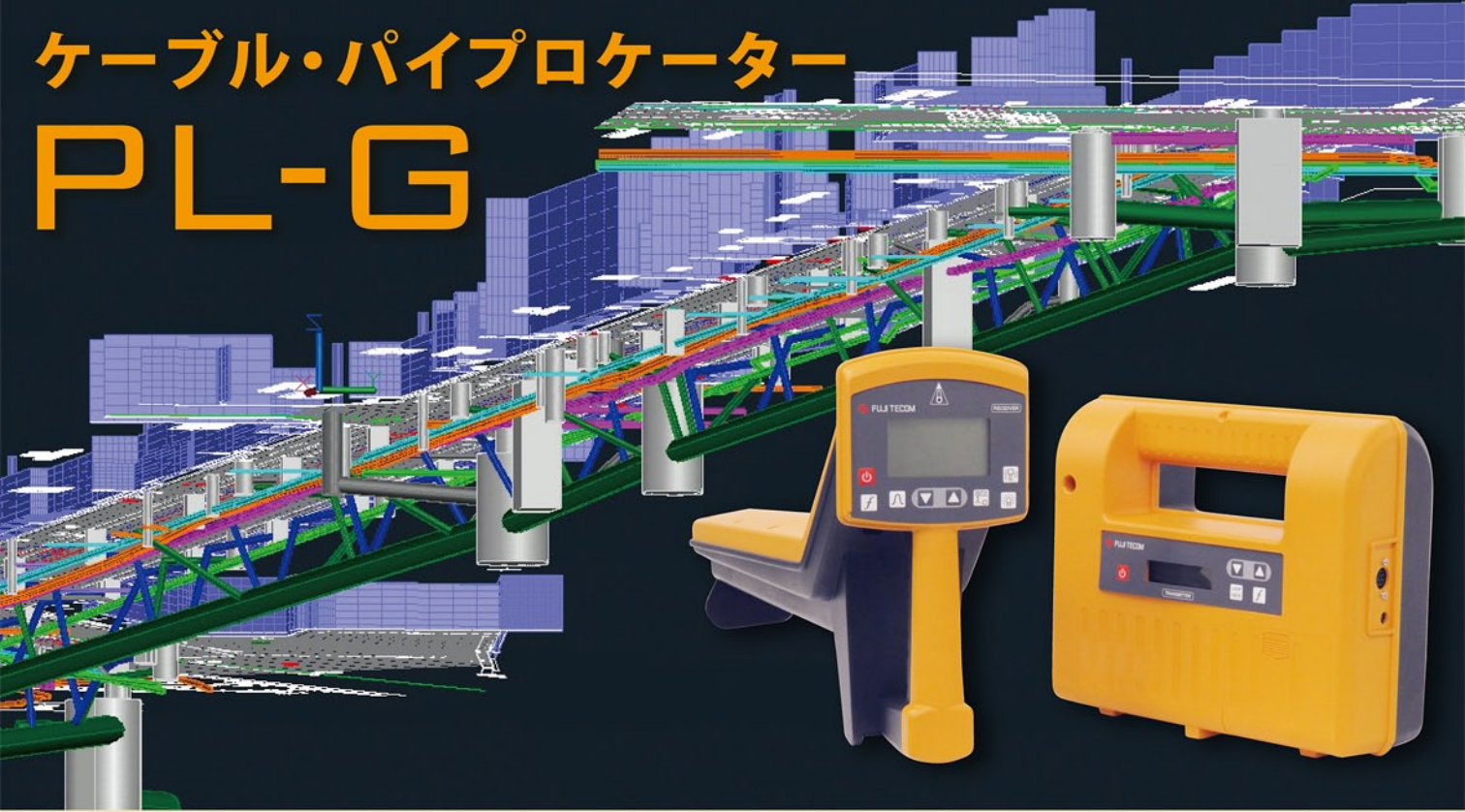


地中の状態がより詳しく見える

見えすぎる最新機種をさらにサポート

ケーブル・パイプロケータ PL-G



ケーブル・パイプロケータとストリームCを併用することでより高深度・高精度に

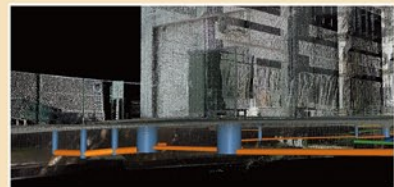
ケーブル・パイプロケータ< PL-G >とストリームCを併用することで目的管の追跡探査や、金属・非金属の判別をより精度よく検知する事が可能。管が密集している場所などで目的管の検知に威力を発揮し、最大5mまでの高深度探査が可能となります。

▼ ケーブル・パイプロケータ

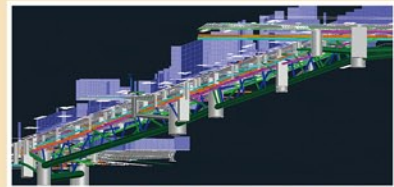
▶ ストリームC



● 成果図比較



↑ ストリームC 調査のみ



↑ PL-G、ストリームC 併用

※ケーブル・パイプロケータ< PL-G >は電磁誘導法を測定原理とする探知機です。金属管やロケータリングワイヤー付の非金属管を精度良く探知する事ができます。ロケータリングワイヤーが付いていない塩化ビニール管等の非金属管や空洞は探知できません。

特長①

管の位置が振動でわかる

特長②

最大5mまでの高深度探査が可能

特長③

ストリームCとの併用でより高精度に

特長④

インフラ維持管理の業務に力を発揮します

最大5mの高深度探査が可能

ケーブル・パイプロケータは最大5mまでの高深度探査が可能となりました。



ストリームC

ストリームC
2m

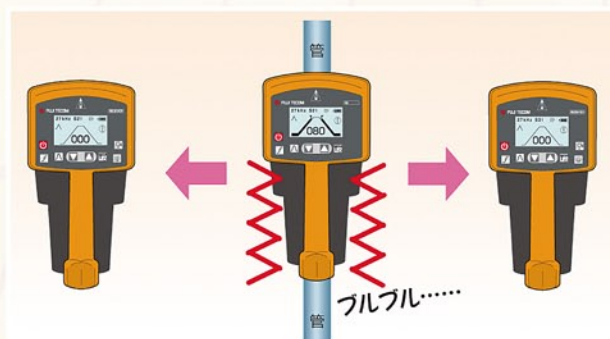


ケーブル・パイプロケータ

最大5mまでの
高深度探査が可能

作業効率を上げる優れた機能搭載

ケーブル・パイプロケータは音に加え、バイブレーターとLEDでピーク点をお知らせしてくれるので、見落としや周囲を注意しながら作業をする時に最適です。

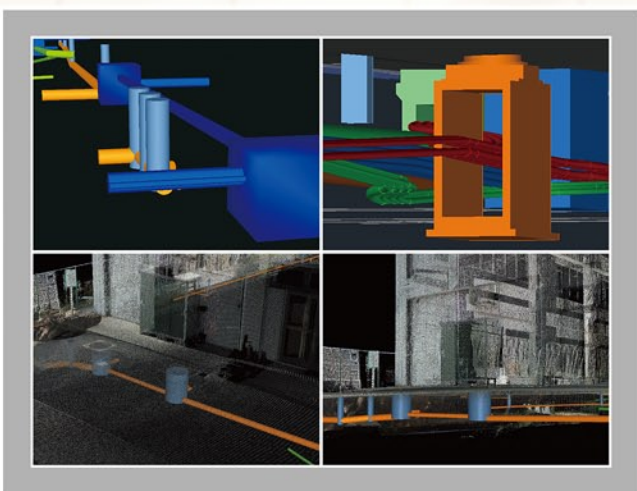


←実際の作業風景 ↑手元画面

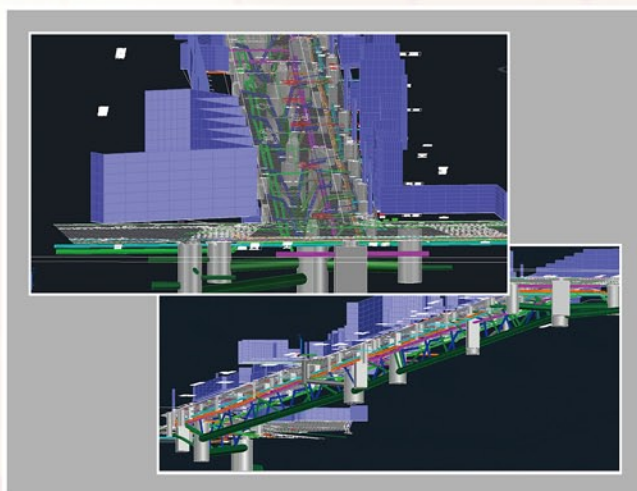
成果作成イメージ

ストリームCと併用することで、金属・非金属の判別がより分かり易い成果図を作成することが可能となりました。

ストリームCのみ <成果図>



ケーブル・パイプロケータとストリームC <成果図>



株式会社 きんそく

<https://www.kinsoku.net>

